

なら歯と口腔の健康づくり計画の
最終評価

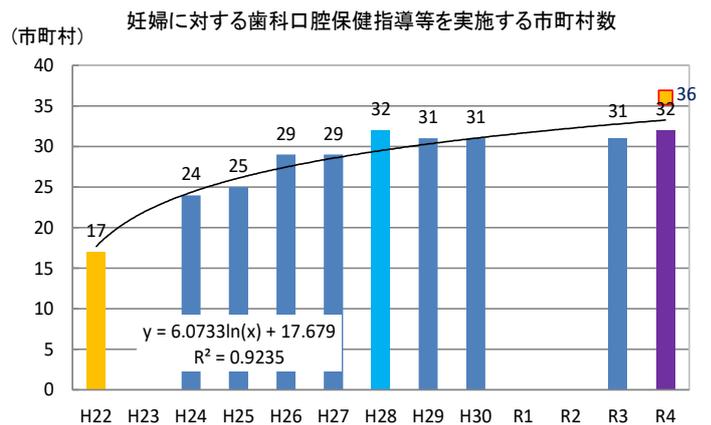
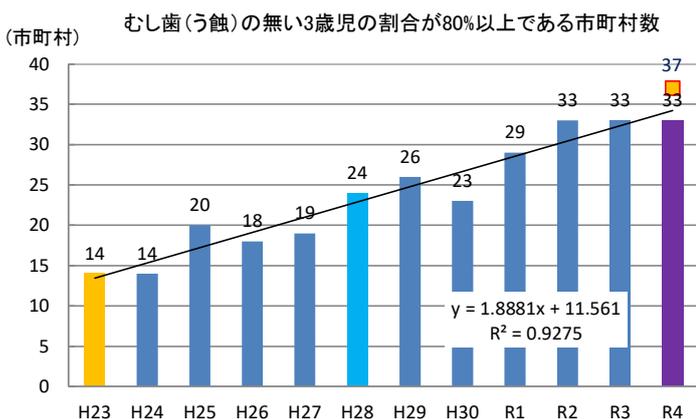
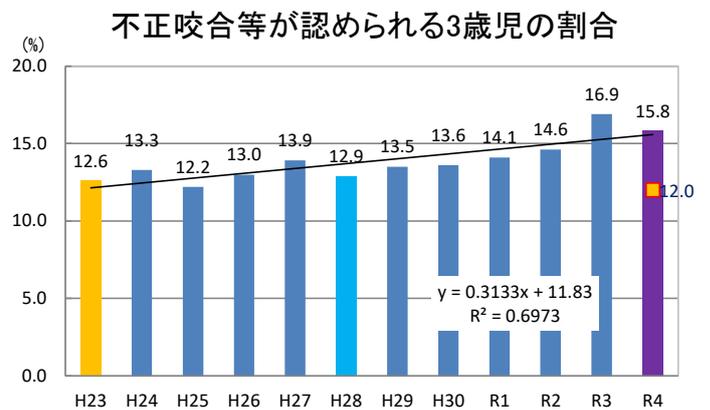
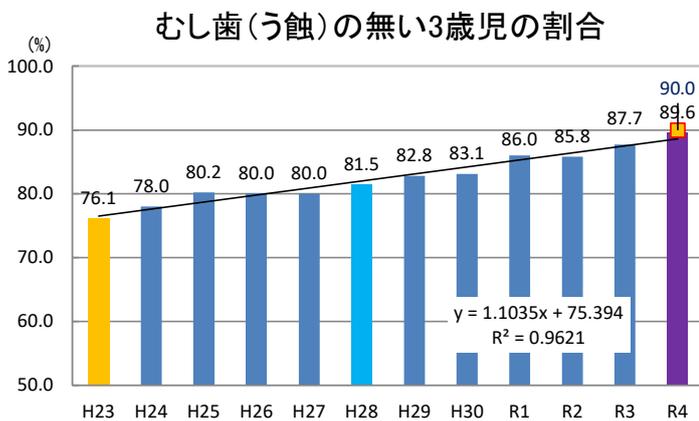
令和5年11月

1 ライフステージごとの取組

(1) 乳幼児期（0～6歳）・妊婦

	指標名	策定時	中間評価値	目標値 (R4)	直近値	評価
1	むし歯（う蝕）の無い3歳児の割合	76.1% (H23)	81.5% (H28)	90.0%	89.6% (R4)	B
2	不正咬合等が認められる3歳児の割合	12.6% (H23)	12.9% (H28)	12.0%	15.8% (R4)	D
3	むし歯（う蝕）の無い3歳児の割合が80%以上である市町村数	14市町村 (H23)	24市町村 (H28)	37市町村 /94.9%	33市町村 (R4)	B
4	妊婦に対する歯科口腔保健指導等を実施する市町村数	17市町村 (H22)	32市町村 (H28)	36市町村 /92.3%	32市町村 (R4)	B

※ 赤字部分は前回委員会から更新



【評価】

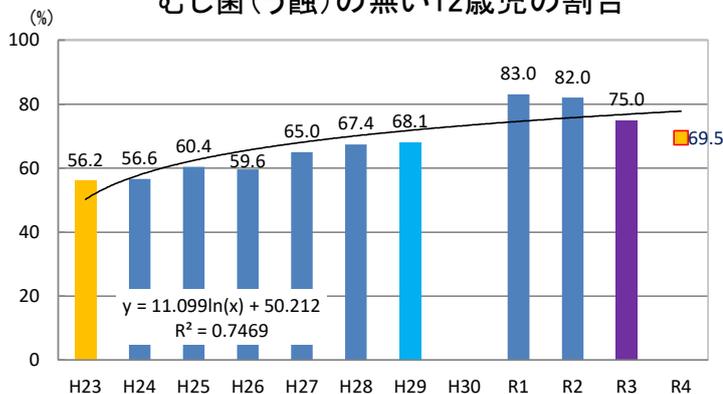
- A：目標値に達した
- B：目標値に達しなかったが改善した
- C：変わらない
- D：悪化した

1 ライフステージごとの取組

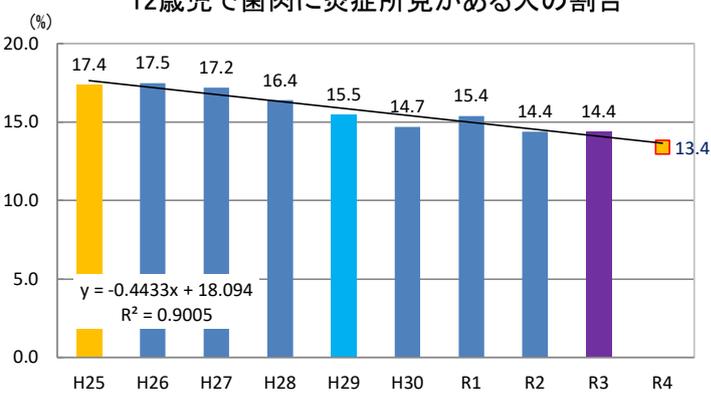
(2) 少年期 (7~18歳)

	指標名	策定時	中間評価値	目標値 (R4)	直近値	評価
1	むし歯(う蝕)の無い12歳児の割合	56.2% (H23)	68.1% (H29)	69.5%	75.0% (R3)	A
2	12歳児で歯肉に炎症所見がある人の割合	今後把握	15.5% (H29)	13.4%	14.4% (R3)	B
3	12歳児の平均むし歯(う蝕)本数が1本未満である市町村数	17市町村 (H23)	27市町村 (H29)	31市町村 /79.5%	28市町村 (R3)	B
4	小学校での歯科口腔保健に関する集団指導の実施状況を把握している市町村数	19市町村 (H23)	27市町村 (H28)	29市町村 /74.4%	23市町村 (R4)	B
5	中学校での歯科口腔保健に関する集団指導の実施状況を把握している市町村数	9市村 (H23)	14市町村 (H28)	19市町村 /48.7%	16市町村 (R4)	B

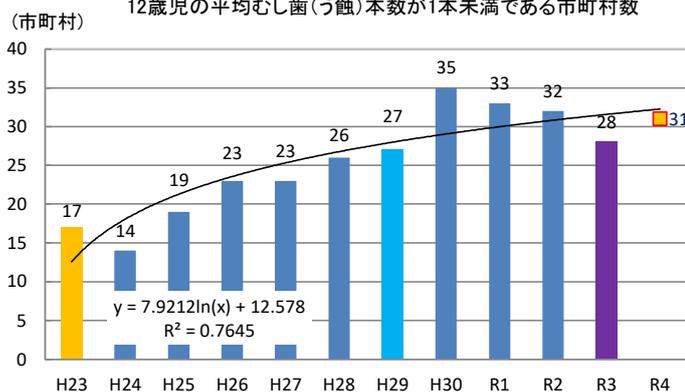
むし歯(う蝕)の無い12歳児の割合



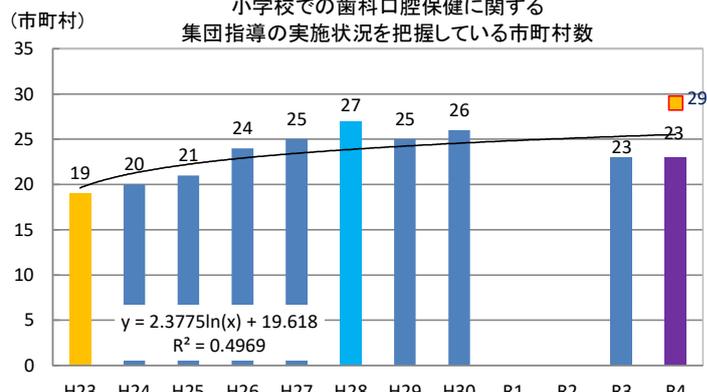
12歳児で歯肉に炎症所見がある人の割合



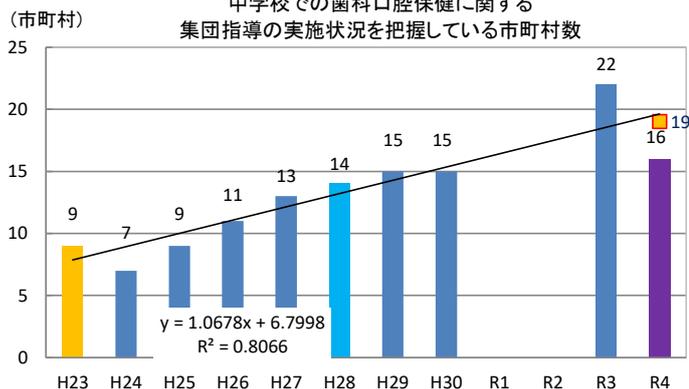
12歳児の平均むし歯(う蝕)本数が1本未満である市町村数



小学校での歯科口腔保健に関する集団指導の実施状況を把握している市町村数



中学校での歯科口腔保健に関する集団指導の実施状況を把握している市町村数



【評価】

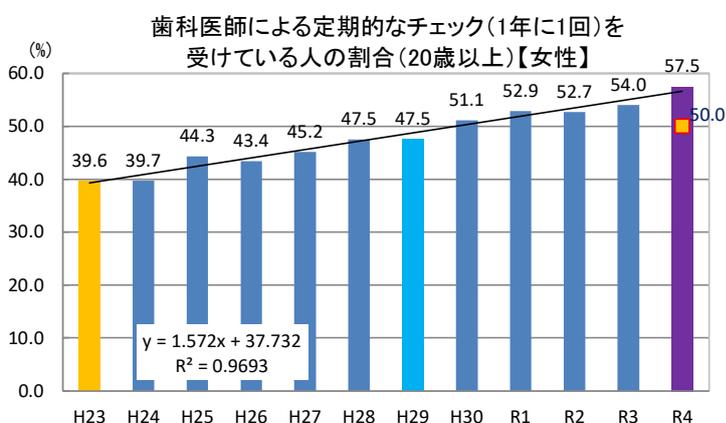
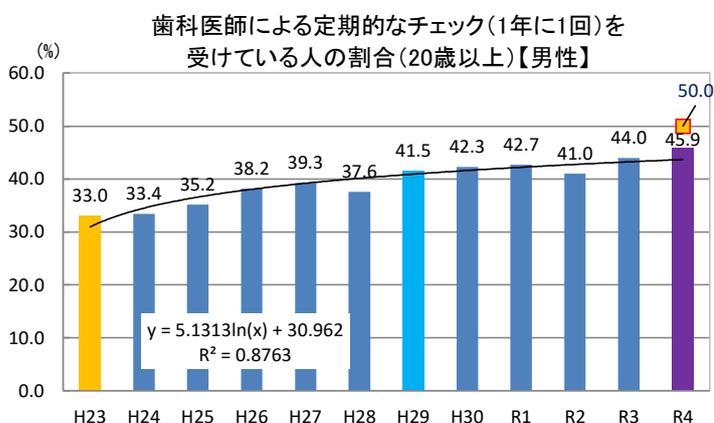
- A: 目標値に達した
- B: 目標値に達しなかったが改善した
- C: 変わらない
- D: 悪化した

1 ライフステージごとの取組

(3) 青年期 (19～39歳) ・ 壮年期 (40～64歳)

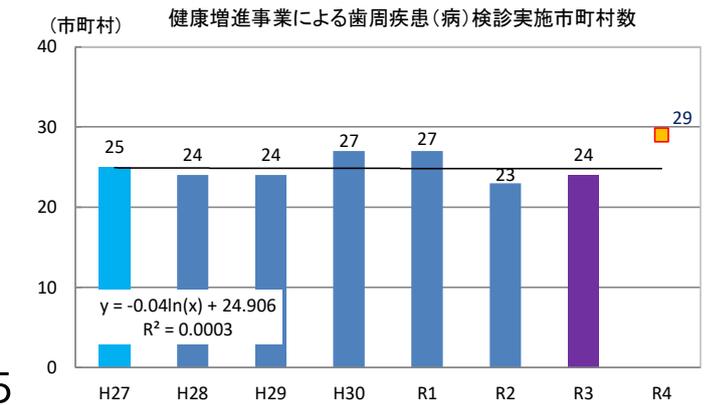
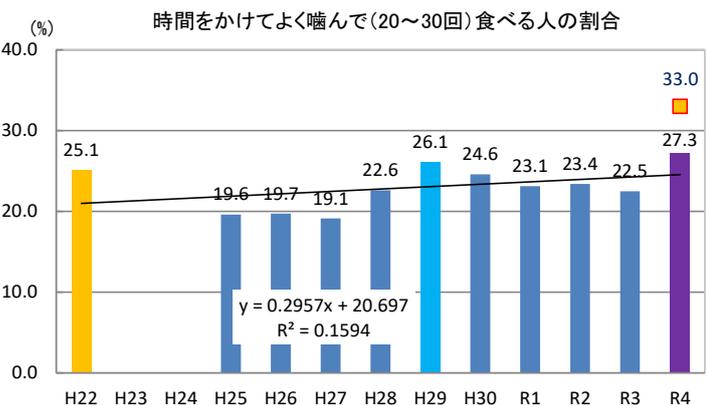
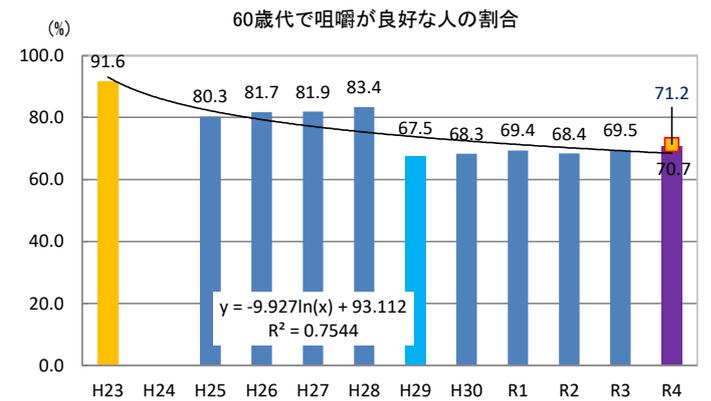
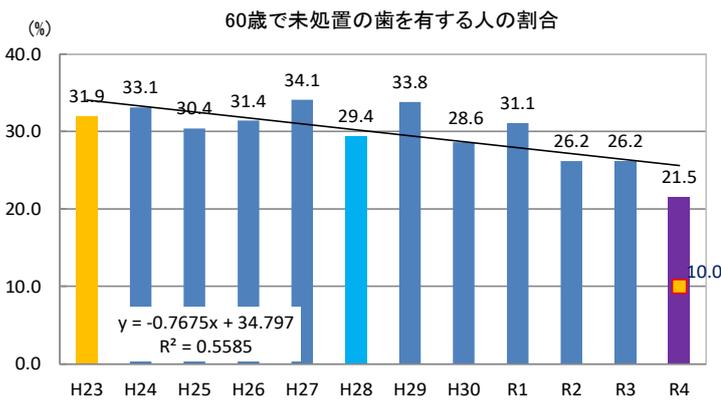
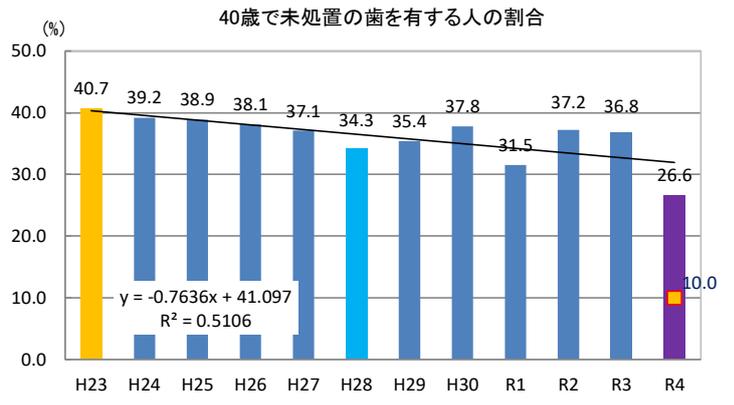
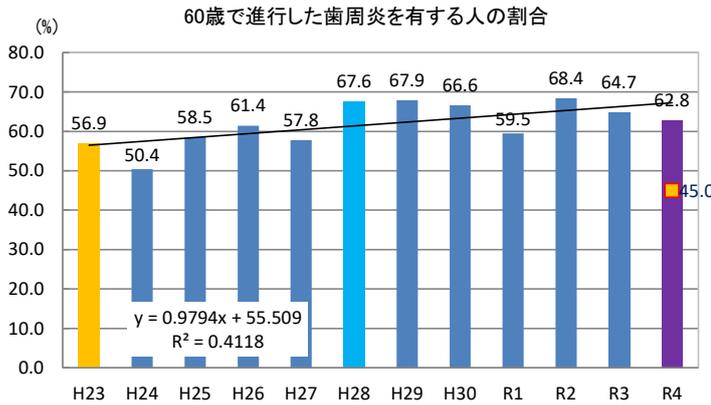
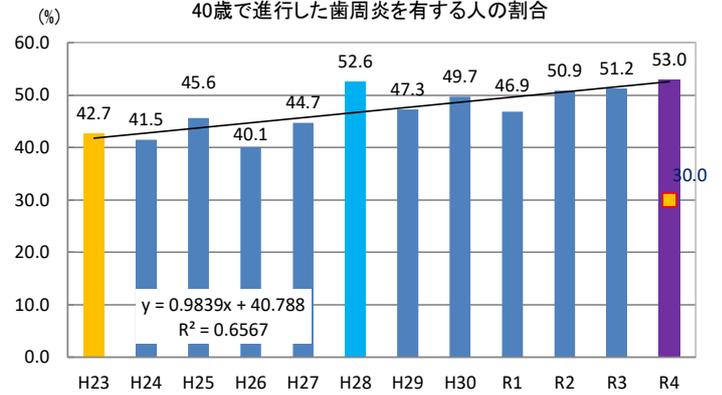
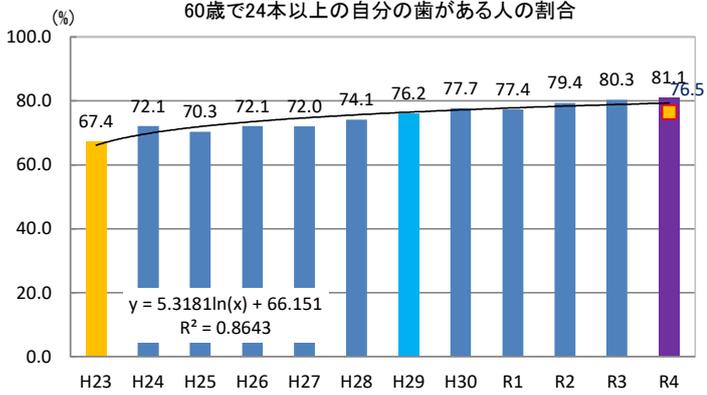
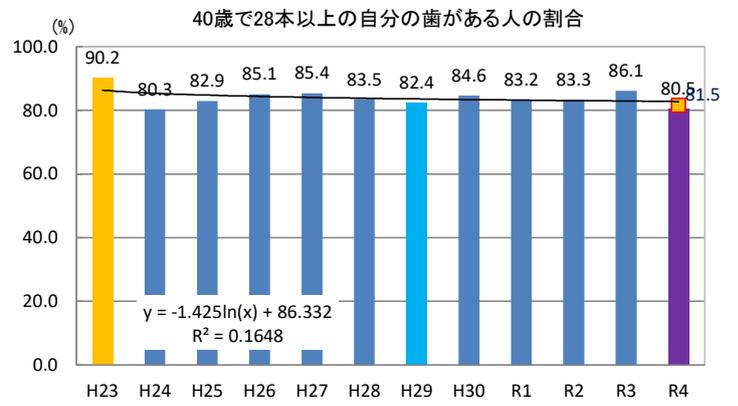
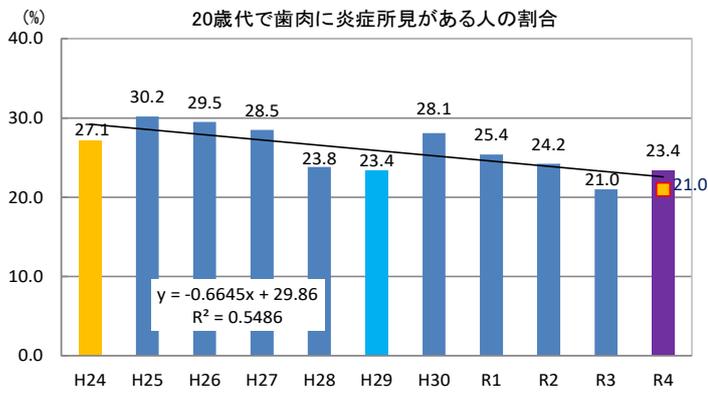
	指標名	策定時	中間評価値	目標値 (R4)	直近値	評価	
1	歯科医師による定期的なチェック (1年に1回) を受けている人の割合 (20歳以上)	男性	33.0% (H23)	41.5% (H29)	50.0%	45.9% (R4)	B
		女性	39.6% (H23)	47.5% (H29)	50.0%	57.5% (R4)	A
2	20歳代で歯肉に炎症所見がある人の割合	27.1% (H24)	23.4% (H29)	21.0%	23.4% (R4)	B	
3	40歳で28本以上の自分の歯がある人の割合	90.2% (H23)	82.4% (H29)	81.5%	80.5% (R4)	D	
4	60歳で24本以上の自分の歯がある人の割合	67.4% (H23)	76.2% (H29)	76.5%	81.1% (R4)	A	
5	40歳で進行した歯周炎を有する人の割合	42.7% (H23)	52.6% (H28)	30.0%	53.0% (R4)	D	
6	60歳で進行した歯周炎を有する人の割合	56.9% (H23)	67.6% (H28)	45.0%	62.8% (R4)	D	
7	40歳で未処置の歯を有する人の割合	40.7% (H23)	34.3% (H28)	10.0%	26.6% (R4)	B	
8	60歳で未処置の歯を有する人の割合	31.9% (H23)	29.4% (H28)	10.0%	21.5% (R4)	B	
9	60歳代で咀嚼が良好な人の割合	91.6% (H23)	67.5% (H29)	71.2%	70.7% (R4)	D	
10	時間をかけてよく噛んで (20～30回) 食べる人の割合	25.1% (H22)	26.1% (H29)	33.0%	27.3% (R4)	C	
11	健康増進事業による歯周疾患 (病) 検診実施市町村数		25市町村 (H27)	29市町村	24市町村 (R3)	D	

※ 赤字部分は前回委員会から更新



【評価】

- A：目標値に達した
- B：目標値に達しなかったが改善した
- C：変わらない
- D：悪化した

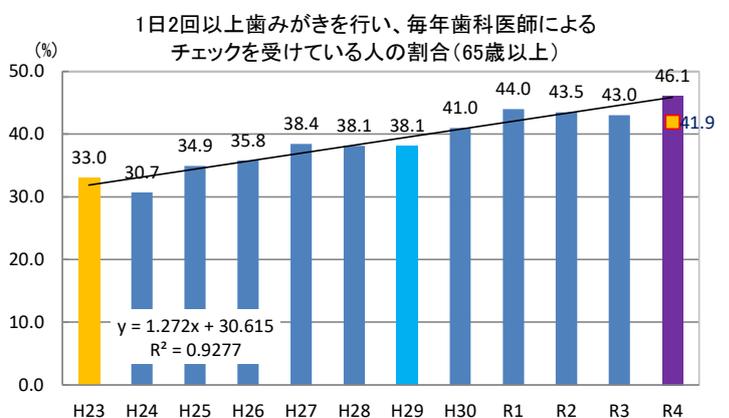
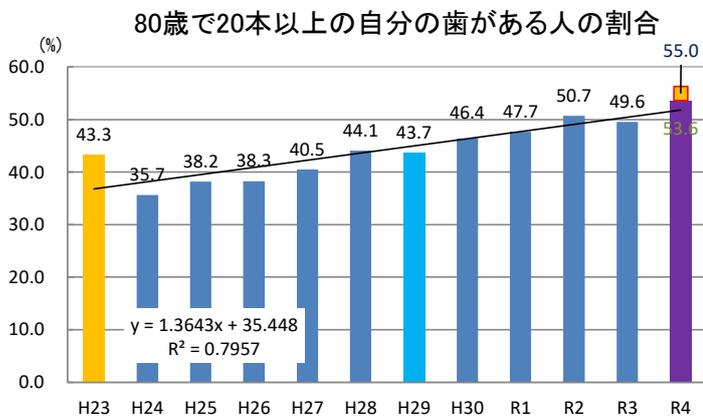


1 ライフステージごとの取組

(4) 高齢期 (65歳以上)

	指標名	策定時	中間評価値	目標値 (R4)	直近値	評価	
1	80歳で20本以上の自分の歯がある人の割合	43.3% (H23)	43.7% (H29)	55.0%	53.6% (R4)	B	
2	1日2回以上歯みがきを行い、毎年歯科医師によるチェックを受けている人の割合 (65歳以上)	33.0% (H23)	38.1% (H29)	41.9%	46.1% (R4)	A	
3	歯科医師による定期的なチェック (1年に1回) を受けている人の割合 (20歳以上)	男性	33.0% (H23)	41.5% (H29)	50.0%	45.9% (R4)	B
		女性	39.6% (H23)	47.5% (H29)	50.0%	57.5% (R4)	A

※ 赤字部分は前回委員会から更新

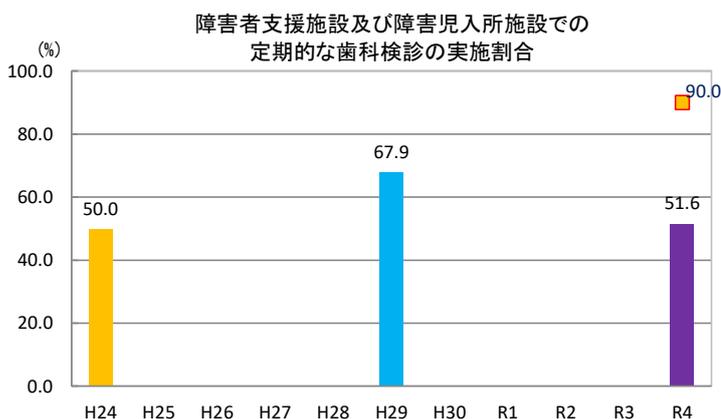


※ 歯科医師による定期的なチェック (1年に1回) を受けている人の割合 (20歳以上) の経年グラフは4頁参照

2 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な人への対応

(1) 障害のある人

	指標名	策定時	中間評価値	目標値 (R4)	直近値	評価
1	障害者支援施設及び障害児入所施設での定期的な歯科検診の実施割合	50.0% (H24)	67.9% (H29)	90.0%	51.6% (R4)	C

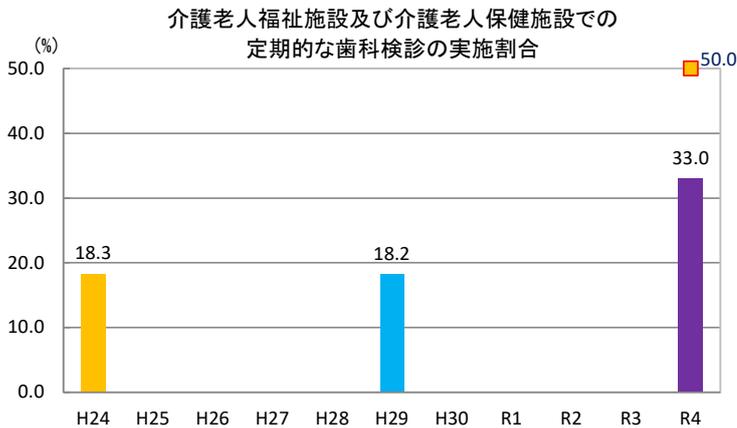


【評価】

- A : 目標値に達した
- B : 目標値に達しなかったが改善した
- C : 変わらない
- D : 悪化した

2 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な人への対応 (2) 介護が必要な高齢者

	指標名	策定時	中間評価値	目標値 (R4)	直近値	評価
1	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科検診の実施割合	18.3% (H24)	18.2% (H29)	50.0%	33.0% (R4)	B



3 社会環境の整備

	指標名	策定時	中間評価値	目標値 (R4)	直近値	評価	
1	歯科医師による定期的なチェック（1年に1回）を受けている人の割合（20歳以上） 4頁:再掲1(3)参照	男性	33.0% (H23)	41.5% (H29)	50.0%	45.9% (R4)	B
		女性	39.6% (H23)	47.5% (H29)	50.0%	57.5% (R4)	A
2	むし歯（う蝕）の無い3歳児の割合が80%以上である市町村数 2頁:再掲1(1)参照	14市町村 (H23)	24市町村 (H28)	37市町村 /94.9%	33市町村 (R4)	B	
3	12歳児の平均むし歯（う蝕）本数が1本未満である市町村数 3頁:再掲1(2)参照	17市町村 (H23)	27市町村 (H29)	31市町村 /79.5%	28市町村 (R3)	B	

※ 赤字部分は前回委員会から更新

【評価】

- A：目標値に達した
- B：目標値に達しなかったが改善した
- C：変わらない
- D：悪化した

結果

評価A：目標値に達した
 評価B：現時点で目標値に達しなかったが改善した
 評価C：変わらない
 評価D：悪化した

領域	評価A	評価B	評価C	評価D
1 ライフステージごとの取組				
(1) 乳幼児期（0～6歳）・妊婦	0	3	0	1
(2) 少年期（7～18歳）	1	4	0	0
(3) 青年期（19～39歳）・壮年期（40～64歳）	2	4	1	5
(4) 高齢期（65歳以上）	2	2	0	0
2 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な人への対応				
(1) 障害のある人	0	0	1	0
(2) 介護が必要な高齢者	0	1	0	0
3 社会環境の整備				
	1 (再掲)	3 (再掲)	0	0
合計	6 (うち再掲 1)	17 (うち再掲 3)	2	6

【評価方法】

- ・目標値に達した指標は評価Aとした。
- ・目標値には達しなかったが、策定時の値と目標値の差の30%以上改善した指標は評価Bとした。
- ・策定時の値から5%以上悪化した指標は評価Dとした。
- ・その他の指標は評価Cとした。ただし、単位が市町村数の指標は絶対数で評価した。

評価Aの指標

- 1 (2) 少年期（7～18歳）
 ・むし歯（う蝕）の無い12歳児の割合
- 1 (3) 青年期（19～39歳）・壮年期（40～64歳）
 ・歯科医師による定期的なチェック（1年に1回）を受けている人の割合（20歳以上）（女性）
 ・60歳で24本以上の自分の歯がある人の割合
- 1 (4) 高齢期（65歳以上）
 ・1日2回以上歯みがきを行い、毎年歯科医師によるチェックを受けている人の割合（65歳以上）
 ・歯科医師による定期的なチェック（1年に1回）を受けている人の割合（20歳以上）（女性）

評価Dの指標

- 1 (1) 乳幼児期（0～6歳）・妊婦
 ・不正咬合等が認められる3歳児の割合
- 1 (3) 青年期（19～39歳）・壮年期（40～64歳）
 ・40歳で28本以上の自分の歯がある人の割合
 ・40歳で進行した歯周炎を有する人の割合
 ・60歳で進行した歯周炎を有する人の割合
 ・60歳代で咀嚼が良好な人の割合
 ・健康増進事業による歯周疾患（病）検診実施市町村数

最終評価

設定指標の4分の3が改善し、県民の歯科口腔保健は概ね向上したが、悪化した指標が青年期・壮年期に集中しており、次期計画においても引き続き取組が必要と考えられる。